

手作り帽子をいただきました

— 患者さまに寄り添う温かな贈り物 —

先日、「笑くぼ手作り帽子の会」のボランティアの皆さまから帽子をいただきました。

当院に緩和ケア病棟があることで、抗がん剤の治療で脱毛された方に少しでも明るい気持ちになれるよう、そして快適な毎日が送れるようにと手作りされたものです。そのため生地や仕様にも工夫がなされた素敵な帽子の数々です。

ボランティアの皆さまが心を込めて手作りされた帽子、大切に使用させていただきます。皆さまのお心遣いに感謝申し上げます。



明石市「オレンジサポーター 養成講座」を受講しました

— 病院ボランティアの活動として認知症と向き合う第一歩 —

2025年10月15日、明石市の「オレンジサポーター 養成講座」を受講しました。参加者はボランティア5名と看護師1名・事務1名で、講師は明石市社会福祉協議会から派遣された稲さんです。

認知症の方との接し方をテキストとビデオでわかりやすく丁寧に教えていただきました。特に、日常生活のなかで遭遇しそうな場面をビデオで観て、より良い接し方を二次体験することは心に残りました。

受講前、90分の養成講座に集中してついていけるのか、また、やがて自分の身に起こるのではという認知症への緊張がありましたが、あっという間に時間が過ぎました。質疑応答で他の受講生も同じように感じておら

れ、自分たちができる支援とともに、自らの身に起こりうるかもしれない認知症を理解できる研修でした。

受講後、オレンジサポーターの証であるバッジとリングをいただきました。



特定医療法人 誠仁会

大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel.(078)935-2563



財団法人
日本医療機能評価機構
認定書受領

当院専用
バス有り
詳細は当院
ホームページ

交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩20分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
- ②のりば 19「山手台」行き
- ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは
ホームページでもご覧になれます

<https://www.seiinkai.or.jp/>



特定医療法人 誠仁会

OKUBO HOSPITAL NEWS



2026年
1月23日

No. 60

大久保病院だより

TOPIC

子宮がんから自分を守るために
— 検診と早期発見が「未来の安心」につながります —



副院長 産婦人科 吉岡 信也
(後列・左)

子宮がんには「子宮頸がん」と「子宮体がん」の2つがあります。どちらも女性にとって身近ながんですが、性質が異なり予防法や早期発見のポイントも違います。

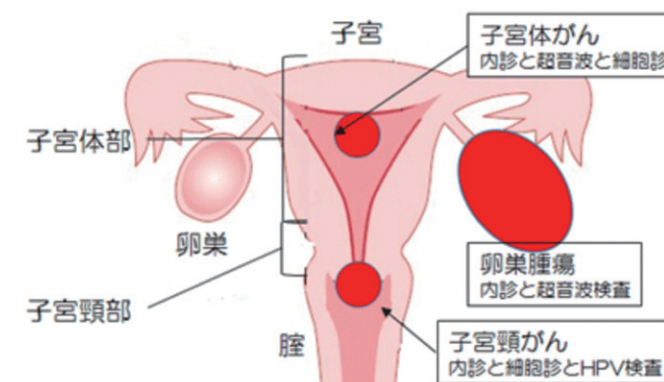
子宮頸がんは、主にヒトパピローマウイルス (HPV) の持続感染が原因となり、中高年者だけではなく20～40代の比較的若い世代にも多くみられます。上皮内がんを含めると、20～30代の女性が最も多く罹るがんで、全てのがんの半分以上を占めます。しかし子宮頸がんは、がん検診で前がん病変の段階から発見でき、早期に治療すれば“治る”可能性が非常に高いのが特徴です。また、HPVワクチンによる予防効果も高く、ワクチンと定期検診を組み合わせれば発症を大きく減らすことができます。

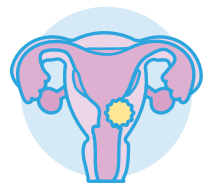
子宮体がんは閉経前後～高齢の女性、さらに高血圧、糖尿病、肥満の女性に多いがんで、日本では年間1万9千人以上が新たに診断され増加傾向です。不正出血をきたすことが多く、特に「閉経後の出血」は放置してはいけません。

がんの早期発見には、自覚症状がなくても定期検診を受けることが最大の備えになります。子宮頸がん検診は自治体の助成もあり、20代から受けやすい体制が整っています。「忙しいから」「症状がないから」と後回しにせず、定期的な健康チェックのひとつとして生活に組み込みましょう。当院では子宮頸がん検診のときに、超音波で子宮体がんや卵巣がんについても検査しています。また子宮がんの診断や初期治療も婦人科腫瘍の専門医が行っています。

ご自身の身体を守る第一歩として、そして大切なひとの健康を守るためにも、定期検診や産婦人科外来をぜひ活用してください。

子宮がん：部位と検査方法





子宮頸がんを防ぐために

— HPV検査と細胞診のすすめ —

臨床検査科

皆さん、子宮頸がんの検査を定期的に受けられていますか？

子宮頸がんの検査には、主にHPV検査と細胞診の2つがあります。

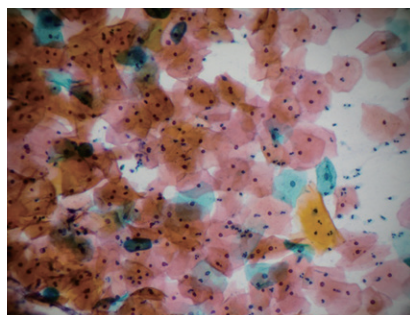
HPV検査は、子宮頸部を擦過して細胞を採取し、子宮頸がんを引き起こす主な原因である高リスク型のHPV（ヒトパピローマウイルス）に感染していないかどうかを調べる検査です。この検査で陽性になれば将来的に必ずがん進展するというわけではありませんが、がんに進展するリスクは高まります。

もうひとつは細胞診と呼ばれる検査です。子宮頸部を擦過して細胞を採取し、顕微鏡でがん細胞や異常な細胞がないかを調べる検査です。がんになる前の段階の細

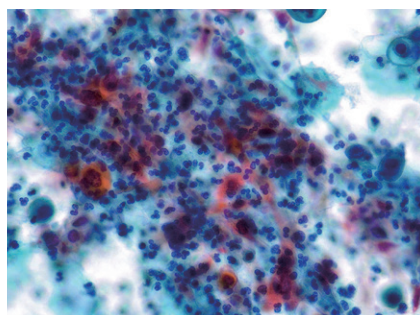
胞も見つけることができます。

どちらの検査も痛みはほとんどなく、短時間で終わります。HPV検査と細胞診は、子宮頸がんを早期に見、予防するための大切な検査です。最近検診を受けていない方や全く受けたことがない方、これを機にぜひ検査を受けましょう。

子宮頸部細胞診



正常細胞



悪性細胞



「女性専門泌尿器科」外来を開設しました

— 快適な毎日を取り戻すため、お気軽にご相談を —

※診察日は外来診療担当医表をご確認ください

はじめまして。2025年より女性専門の泌尿器科外来を担当いたします三田淑恵と申します。

泌尿器科というと、どうしても女性にとっては敷居が高く、「一大決心をして本日、来ました」と外来に来られる患者さんも多く見かけます。頻尿や残尿感、尿漏れなどは男女問わず悩まれる方が多いです。

女性ならではの原因もあり、女性だからこそもっと気軽に泌尿器科を受診していただければと考えています。

「最近おしっこが近い」「尿が漏れるときがある」「おしもから何か出てきている」「膀胱炎かもしれない」などなど、不安やお悩みを抱えている患者さんはお気軽にご相談いただければ幸いです。どんなご相談でもお待ちしております。



女性専門泌尿器科
みた よしえ
医師 三田 淑恵

第29回 大久保北健康まつり — 地域で育む健康と絆 —

生活習慣病対策委員会

2025年10月25日（土）、第29回大久保北健康まつり（主催：大久保北コミュニティ・センター、後援：大久保病院）が開催されました。今年度も天候に恵まれ約300名の地域の方々にお越しいただきました。

今回の記念講演では自治医科大学名誉教授ミネラル代謝研究部客員教授の黒尾誠先生に「老化を防ぐ、未来がそこにある～腎臓が寿命を決める～」をテーマに腎臓ケアの重要性など、わかりやすくご講演いただきました。



黒尾誠先生による記念講演



各測定会場



冬季感染症

「ノロウイルス」～正しく知ろう 感染症～

感染対策委員会

毎年10月ごろより流行期を迎えるノロウイルスについて、今回はお話いたします。

まずは、ノロウイルスを知ることです。

1. 10月から流行し、冬季に流行がピークとなる
2. 非常に強い感染力を持ち、胃腸炎症状を起こす
3. 感染から発症までの時間（潜伏期間）は24～48時間で、嘔吐（噴水様の嘔吐）、嘔気、下痢、腹痛、発熱などが主な症状である
4. ノロウイルスは、食品等を介した食中毒の原因だけでなく、ノロウイルスに感染したひとの糞便や吐物の飛沫感染や接触感染により、感染性胃腸炎を引き起こす

感染してしまってもウイルス性食中毒感染を起こさない4原則

- ① 持ち込まない： 胃腸炎症状のないひとが料理をする
- ② 広げない： 調理器具等の洗浄・消毒（中性洗剤で洗浄し、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムの希釈液に浸漬）を行う
- ③ つけない： 手洗い（調理前、調理中、食前、トイレに行った後、汚物を処理した後）を必ず行う
注意！消毒エタノールによる手指消毒は効果がないと言われています
- ④ やっつける： 加熱処理（食品の中心部が85℃～90℃で90秒）をしたものを食す



ノロウイルスを予防し、元気な冬を楽しみましょう♡